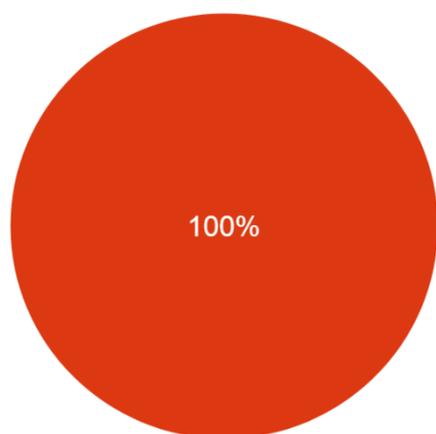


令和5年度総合計画審議会専門部会グループワーク事後アンケート結果

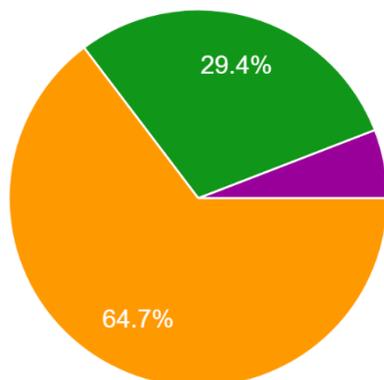
問 1-1 グループワークの人数について(1グループ5人)



- 多かった
- 適当
- 少なかった

選択肢	令和5年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
多かった	0	0.0%	0	0.0%
適当	17	100.0%	15	100.0%
少なかった	0	0.0%	0	0.0%

問 1-2 グループワークの時間について(1施策30分)



- 長かった
- 少し長かった
- 適当
- 少し短かった
- 短かった

選択肢	令和5年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
長かった	0	0.0%	0	0.0%
少し長かった	0	0.0%	2	14.3%
適当	11	64.7%	12	85.7%
少し短かった	5	29.4%	0	0.0%
短かった	1	5.9%	0	0.0%

専門部会22人を4グループに分け、1施策30分×3施策(2日程)行いました。1施策30分について、施策によっては議論が活発になり、短く感じることもあるが概ね適当であるとの結果となりました。

問2 グループワークと挙手方式の専門部会それぞれの発言のしやすさ

(数値が大きい方が発言しやすい)

属性	平均点（令和5年度）		平均点（令和4年度）	
	挙手方式	グループワーク	挙手方式	グループワーク
全体	3.53	4.24	2.73	4.46
男性	3.61	4.23	3.22	4.83
女性	3.25	4.25	2.00	3.14
再任者	3.44	4.22	2.57	4.57
新任者	3.62	4.25	2.26	4.25

- 発言しやすさの平均値は、挙手方式の専門部会では3.53（R4は2.73）。グループワークでは4.24（R4は4.46）であり、グループワークの方が0.71ポイント上回り、話しやすいという結果になりました。
- グループワークの方が発言しやすいと回答した方は8名、変わらないと回答した方は8名、挙手方式の専門部会の方が発言しやすいと回答した方は1名となりました。

問3 グループワーク全般について、感想などをお聞かせください（任意）

良かった点

発言出来る機会が必ず与えられる
個々の考え（住民視点等）と行政の努力する（前向き）日々を理解できたこと。
町民同士が活発に意見を出し合うことで、町の施策に対する理解が深まったこと。
各委員さんの意見、質問を聞きながら、事前に考えていた意見とは違った見方が出来たり、新しい質問が湧いて来たりして良かったです。
議論しやすい、会話しやすい
グループワーク用シートの事前配布が大いに役立ちました。
事前に質問を取りまとめていた点はスムーズな進行に繋がったと思います。
2回3回（グループワーク形式）は少人数、司会、板書がいて良かった。進行、発言を求める進め方が上手であった。
評価発表から取組に対する意見まで時間スケジュールに沿って取り進めいただき、発言のしやすさや個々の考え方も良く理解できて充実した時間を過ごせた事が自分のスキルアップにも繋がりました。
少人数であるため、委員同士で話しやすい。他のグループワークの意見が張り出され

ることで、見れてよかった。
人前で発言しにくい人にとっては友好的なものと感じました。そうでない人にとっては、どちらでも変わらないように感じます。どちらの場合にしても、参加者側の事前の準備の有無で成果は変わると思います。
グループの雰囲気が良いと意見をだしやすくなったのがよかったと思います。
委員全員が話せたので、多様な考えから結論を出せた

改善した方が良い点

30分は短い。45～50分枠が欲しい。発言者のまとめ（自覚、長く話さない、短くまとめる意識）
全体的時間配分からバランスをとるのが難しいのかもしれませんが、1項目当たりの時間配分を10～15分、延長して欲しいと思いました。
評価方法について、もう少し統一感があれば良いかなと思います。
4回目（挙手方式）は進行役として副部長が務めたが、2回目、3回目に行った進行役、板書さんをお願いした方がよいと感じた。
個々の意見が出された分、時間があと30分足りないと感じた。平日の夜以外に土曜日、日曜日（日中）も利用してみてもどうか？
その日に扱う議題数を合わせないと、単純な比較は難しいように感じました。
話すテーマが多すぎて、じっくり審議できないから、町民が参加した。というためのよう感じる部分もありました。総合計画についての説明もその時しても遅いかと思います。
議案によって、議論に時間を要するものがあつたので、時間配分に工夫が必要だと感じた。
特に無し
今のところ思い浮かびません。

その他

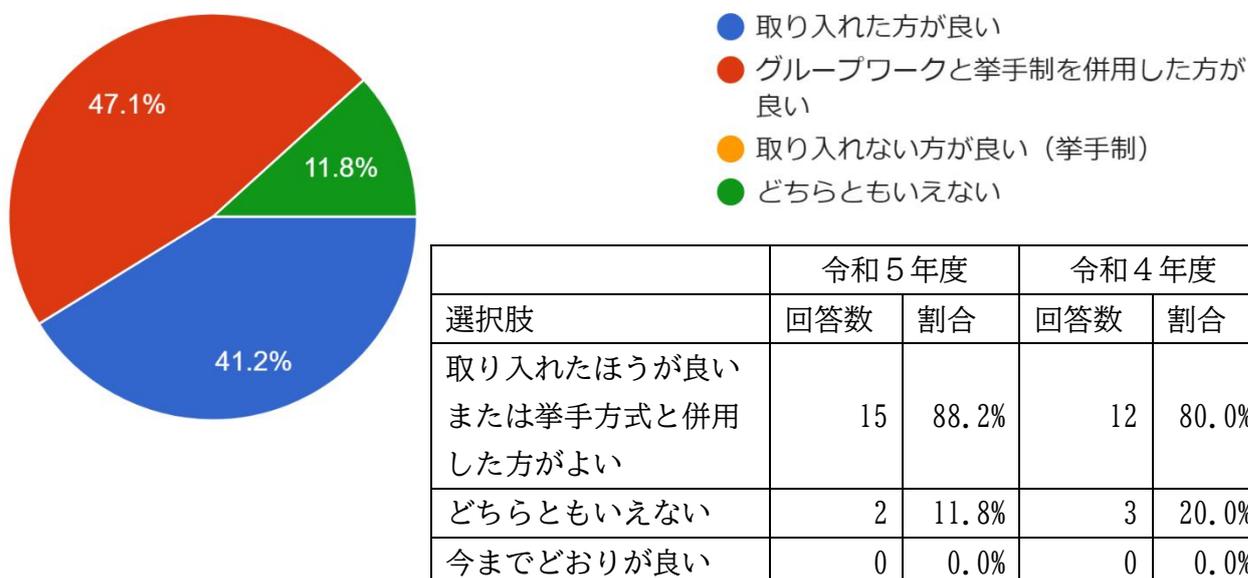
役場職員の皆様には議会对応に加えて町民からもいろいろと指摘を受けることになることから、私達委員としましても役場職員の皆様にできるだけ負担をかけないよう努めていきたいと思っています。
部員皆さんの積極的な発言姿勢がとても印象的でした。
残念だと思うのは、第4回の挙手方式は時間と施策数がマッチングしていなかったの

で、意見を出しづらく遠慮しました。進行役もまとめづらかったと感じました。
公立芽室病院担当職員とのやりとりの時、総計で出された意見をこのように具体化、実施した、という話が聞け、ここで話されたことがちゃんと生かされていること、双方向のやりとりを感じることができてとても良かった。
無し。

問4 ファシリテーターの参加について

進行の仕方がスムーズで、話しやすかった。
1人1人の意見調整とまとめを方向づけて頂き、スムーズに会議が進みました。
市民ファシリテーターによるグループワークの進行はその場を和やかな雰囲気にするとともに、活発な意見を引き出すことに役立ったと思います。
1時間半で3施策の審議をするため、残念ながら市民ファシリテーターの良さを出す前に、司会進行役になってしまった感がある。
中立的立場からの進行役がいてくれると、意見、質問に集中出来てありがたいです。
進行が上手でとても良かった
スムーズに進行されたと思います。
スムーズな進行に務めていただきました。
市民ファシリテーターが進行役として活躍され、それぞれの方々が役場職員との連携によりスムーズでわかりやすいグループワークになり、機会があれば自分もやってみたいと感じました。
進行はスムーズでした。
ファシリテーターの負担もかなり大きいように感じました。
市民ファシリテーターがいることで話やすくてよかった。
同じ目線になれるし、皆さん協力しあってすすめる雰囲気になってよいと思います。
難しい話し合いだと思いますが、話しやすく工夫してくれてとてもよかった。

問5 来年度の専門部会でもグループワークを取り入れたほうが良いと思いますか。



問5の理由（任意）

取り入れた方が良いまたは挙手方式と併用した方が良いと回答した人

意見を述べやすい。
ある方向に時間内でまとめる作業は必要
挙手方式のみとした場合、町民対役場職員の構図となってしまう、町民同士の対話や施策についての問題共有等が図られないため。
挙手方式だと特定の人意見に引っ張られる傾向がある。それぞれが評価を述べ合っ て、まとめる方が深まると思うから。
挙手方式を一回程度入れると、グループワークとは違った雰囲気、より広い意見、 質問があるかもしれないので。
ワークシートの事前配布により、各自あらかじめ考えをまとめられているので、限ら れた時間内で全員が意見発表できる。更に出された意見について、議論を深めるには 挙手方式度も必要と思います。
各々特性があり、全ての議題に全員の意見を求めると負担感が大きいと思います。
市民ファシリテーターによる進行が上手で発言しやすい。
委員一人一人の意見が反映されると思いますし、発言がどうしても多くなる委員がい て考え方が偏るのでグループワークを取り入れてほしいと思います。
短い時間で論点をつけるところが良い。挙手方式を否定するわけではないが、大勢だ と話づらい点がある。

話やすさと時間の都合上
両方できるならそのほうが偏らない
意見が出しやすいこと

どちらともいえないと回答した方

比較的、一つの議題で時間を費やせるという点でグループワークは良いなと感じました。1人が取り扱う議題数は少なくなるかもしれませんが、しっかりと話しを聞けるという点ではメリットが大きいと思います。市民ファシリテーターの必要性はそこまで感じません。

問6-1 委員の中から評価方法について、※点数制の導入の提案がありました。ご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

※点数制とは、成果指標から○点、取組内容から×点、それぞれの合計点で評価（Cランクなど）を決定することです。

評価の仕方として、有りかなと思います。
試験的に実施してほしい。やらずに現行どおりでは進歩がない。各委員が予習時に採点して発言すべきだ。総合点により判定した方が良いと考える。
評価の仕方があいまいだと感じる部分もあったので、やってみるのもよいと思います。
議論によるランク付けがなかなか難しいため、導入したほうが良い。
点数制の導入はメリットとデメリットをよく検討する必要があると思います。
確かに、成果指標が95%にもかかわらず目標が95%以上のためC評価となるなど、指標値が比較的高い傾向の施策があり、評価するのに矛盾を感じた。点数制のイメージが出来ないが、より町職員の頑張りを評価出来る方法に、再検討した方がよいと思う。
現状の評価方法で良いと思います。採点の仕方や配分が、難しいかもしれません。
変更しなくとも良い
議論が必要と思います。
評価の仕方については正直悩ましい部分がありました。実施項目については計画比や前期比、時系列の推移によって評価にブレが生じてしまいがちなので、項目ごとに評価方法を変えることが可能であれば評価しやすくなるような気がします。

点数制が時間短縮・効率的な施策評価ができると思いません。時間短縮は、本当に委員の評価を吸い上げる事が可能かどうか疑問で、自分が出席したグループワークでの評価が良いと考えます。

今までどおりの評価方法でよいと思う。

確かに、点数があった方がランク付しやすいとは思いますが、その点数の根拠付けの方が更に難しいので、今までの評価で問題ないと思います。

行政の仕事に点数制が当てはまるかどうか分からないことから、回答は難しい。

問 6-2 その他、総合計画審議会専門部会について、ご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

グループワークの時テーブル1脚に、出来れば2名の席が良いですね。

グループを分けてしまうと別の班の内容にタッチできないのが残念

総合計画審議会専門部会は町民が町の施策について理解を深める貴重な機会であると感じました。

部会についてはないが、住民意識調査はよく精査して、まとめた方がよい。質問内容と反対意見が違っていて、それらを整理すれば反対意見の割合が減り、評価が上がる可能性がある。また、男女で評価が異なったり、調査時期が冬のため施策によって評価が強まったりしている場合などがある。

山崎講師の指摘がありました。町政全般にわたって住民によるチェック機能の場として、貴重なシステム・場所だとおもいます。

終了時刻にこだわりすぎずに、担当課の方々が出席しているので、当該課が担当することは議事事項にないことでも発言を求めてほしい。私は役場に出向いて窓口で担当課に発言しているが、専門部会で発言したことは何人もの役場職員が聞いている。石田課長は時間に余裕がある時はなんでも発言してくださいと、コロナ前にはありました。

第1回審議会専門部会での総合計画・審議会・施策評価の説明が形式的で、引き続き委員となった人のための説明と感じた。(委員個々の理解レベルを近づける)

グループワーク導入することで、非常に話しやすいところや施策評価の論点が明確であり良かった。

成果指標の見直し、あるいは追加が必要